

令和四年度 奈良県租税教育推進連絡協議会会長賞

税について

桜井市立大三輪中学校 三年 牧村 圭悟

僕は、商品の購入働くなど全ての分野においてある税について最近思う二つのことについて考えました。

一つめは中学生や小学生は自分で買う作業が増えていきもちろん消費税を払っています。これは、税は払うべきものとして認識していて税への使い道などの関心や興味がないように感じます。税は本来は一緒に日本で住んでいる住民たちが助け合うような幅広く様々なことに利用されています。なのでこの商品についている税は、どのようなことに使われているかを知ること、身近での税や、税を払う一人としても感じるすることができます。さらに、これからの地球にはたくさんの課題が残されていき、これには税が必須であります。税への使い道を考える上で、今から税にふれていると、税に対する考え方が変わってくるのかもしれないです。なので租税教室などを定期的に行うことが大切だと思います。

二つ目は外国の税についてです。外国は日本と異なった種類のたくさんの税があります。例えば、ハンガリーのポテトチップス税による肥満防止の目的、ブルガリアの独自税による少子化の防止の目的などあります。これらは国の防止したい課題がよくわかります。日本ではタバコを少しでも防止するためにタバコ税があります。もし僕が税をつくとすると地球の課題の一つである地球温暖化を防ぐため石油税をつくり、不必要時はのらないようにする意味をこめて、集めた石油税によって、電気自動車など二酸化炭素を排出しないための税をつくると思います。こうした様々な面から税をつかって国の課題を明確にして真剣に考え取り組むことが大切だと思います。異なった外国の税のほかにも国民が負担する税の違いもあります。他の国と比べて日本は負担率は低く将来の課題を先送りになり今で精いっぱいです。かといって今の税より高くすると人々は混乱し批判がたくさんで経済がまわらなくなると思います。なので僕はまず外国の国の税ほど高くするため、税全体をあげるのではなく、消費税から徐々に税金をあげるといいと思います。消費税は、外国の国と比べて安いからです。もちろん外国の国とはそれぞれの課題や税の使い道があります。日本には多額の借金もあり、こうした税を深く考え、外国の国との国際競争を通じて危機感を日本には感じたほうがいいのではないかと思います。

税をかけたり、影響力のあることは今の僕たちにはできないけど、今できることは、税の知識をしっかりと身につけ十八歳になると選挙に行こうと思います。これから将来と今の持続可能な社会を実現するための地球の課題を少しずつ減らしていけるよう税をはらう一人の人として考えていこうと思いました。